

科目名	科学技術文章	英文表記		Science and Technology Expression	平成25年7月4日				
科目コード	4002								
教員名: 網谷 厚子 技術職員名:					修正				
対象学科/専攻コース		学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間		
全学科		4年	必	履修	1単位	講義	後期		
科目目標	1 論理的思考力を身につける。 2 論証することについて熟達する。 3 科学技術文章のスタイルについての基礎的技術を習得する。								
総合評価	1 論理的思考力に関する小テスト・レポートによる評価(20%) 2 プレゼンテーション・小論文による評価(30%) 3 科学技術文章についての課題テストによる評価(50%)								
科目目標達成度とJABEE目標との対応	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)				達成度目標の評価方法		目標割合		
	①	科学技術者に必要な論理的思考力を身につける。(機械A-1,C-1,情報A-1,C-1,メディア,C-4,生物B-1,C-2)			⇒	小論文・プレゼンテーションにより評価する。	30%		
	②	論証することができる。(機械A-1,C-1,情報A-1,C-1,メディアC-4,生物B-1,C-2)			⇒	論証に関するレポート、課題テストにより評価する。	50%		
	③	科学技術文章のスタイルを習得する。(機械A-1,C-1,情報A-1,C-1,メディア,C-4,生物B-1,C-2)			⇒	スタイルについての基礎的な小テストにより評価する。	20%		
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	機械システム工学	情報通信システム工学	メディア情報工学	生物資源工学
	○	◎		○	JABEEプログラム教育目標	A-1,C-1	A-1,C-1	C-4	B-1,C-2
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合									
	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物等)	総合評価	セルフチェック		
評価項目		0	70	20	10	100			
基礎的理解	①②③		70			70			
応用力(実践・専門・融合)	①②③			20		20			
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)					10	10			
主体的・継続的学修意欲						0			
授業概要、方針、履修状の注意	1 批評・批判・論証についての考え方を、実例・パターンに基づいて学ばせ、小論文・レポートを数回書かせることにより、自ら運用できる力を身につかせる。 2 科学技術文章の特色について理解させ、正しく的確に表現できる能力を、小テストで確認しながら形成的に評価し、確実に習得させる。 3 書くこと(論証すること)・話すこと(発表すること)・聴くこと(批評的に)をバランス良く配置し、主体的な学習となるようにする。								

教科書・教材		『知的な科学・技術文章の書き方』(中島利勝・塚本真也著、コロナ社)・『知的な科学・技術文章の徹底演習』(塚本真也地を、コロナ社)			
1		2			
2		2			
3		2			
4		2			
5		2			
6		2			
7		2			
8	前期中間試験(行事予定で週変更可)	2			
9		2			
10		2			
11		2			
12		2			
13		2			
14		2			
15		2			
期末	期末試験	[2]			
16	論理的思考の方法	2	「論理的」となるための必要な要素を学ぶ。		
17	論理の進め方	2	実例を理解し、説得力の根拠を理解する。		
18	批評・批判・論証の実例	2	同調・反対等の説得力ある表現の特徴に気づく。		
19	論拠・データの集め方	2	論拠・データの収集の仕方・表現について習熟する。		
20	説得力ある論理的文章とは	2	「論理的」となるための必要な要素を学ぶ。		
21	科学技術文章の特徴	2	科学技術文章とは何か、基礎的知識を身につける。		
22	文章のルール・スタイル	2	横書きスタイルに関するルールについて学ぶ。		
23	形式名詞・補助動詞の表記・禁則処理	2	形式名詞・補助動詞等の表現に習熟する。		
24	課題テスト	2	上記の学習の習熟度を評価する。		
25	副詞・各種記号・表記のルール、プレゼンテーションの工夫	2	表記の様々なルール、プレゼンテーションの工夫について学ぶ。		
26	プレゼンテーションの実際	2	実際にプレゼンテーションさせ相互評価する。		
27	接続詞・接文語句のルール、文末表現の工夫	2	効果的・明解な文章、力強い魅力的な文章を書く方法について学ぶ。		
28	短文・長文の活用法	2	長短の文章の特徴を最大限に生かす方法を学ぶ。		
29	図番・図表の活用法	2	効果的活用について基礎的知識を身につける。		
30	明解な文章表現法・科学技術者の守るべきルール	2	明解な文章へと推敲できる能力を鍛え、科学・技術者の守るべきルールを学ぶ。		
学習時間合計		30	実時間	22.5	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)					標準的所用時間(試行)
①					
②					
③					
備考欄					
(共通記述)					
・ この科目はJABEE対応科目である。 その他必要事項は各コースで決める。					